

次期（第5次）環境基本計画素案の概要

1 次期計画の策定のポイント

- (1) 計画期間を10年間から5年間に変更（5か年計画との整合や時代の変化へ対応）
- (2) カーボンニュートラル、プラスチック問題、食品ロス削減、SDGs等、昨今の環境や社会経済情勢等の変化に対応

2 主な変更点

(1) 長期的な目標（5→3） <資料3 p9>

第5次環境基本計画	第4次環境基本計画
I 温室効果ガス排出実質ゼロとする脱炭素社会、持続的な資源利用を可能とする循環型社会づくり	I 新たなエネルギーが普及した自立分散型の低炭素社会づくり II 限りある資源を大切にする循環型社会づくり
II 安心、安全な生活環境と生物の多様性が確保された自然共生社会づくり	III 恵み豊かなみどりや川に彩られ、生物の多様性に富んだ自然共生社会づくり IV 安心・安全な環境保全型社会づくり
III あらゆる主体の参画による持続可能な社会構築のための産業・地域・人づくり	V 環境の保全・創造に向けて各主体が取り組む協働社会づくり

(2) 施策展開の基本的な考え方 <資料3 p10,11>

- 1 様々な環境問題の統合的解決
- 2 環境・経済・社会の諸課題の同時解決
- 3 地域社会の持続可能性の向上
- 4 地球規模の影響を意識した地域からの行動
- 5 先進技術の活用、変化を捉えた意識や行動の変革
- 6 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた対応

(3) 施策の方向（20→8） <資料3 p13~36>

第5次環境基本計画	第4次環境基本計画
1 気候変動対策の推進	1 新たなエネルギー社会の構築 2 地球温暖化対策の総合的推進 3 ヒートアイランド対策の推進 15 環境分野の災害への備えの推進
2 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進	4 廃棄物の減量化・循環利用の推進 5 廃棄物の適正処理の推進 15 環境分野の災害への備えの推進
3 みどりの保全と創出	8 みどりの保全と再生 9 森林の整備と保全
4 生物多様性の保全	10 生物多様性の保全
5 恵み豊かな川との共生と水環境の保全	6 水循環の健全化と地盤環境の保全 7 川の保全と再生 12 公共用水域・地下水及び土壌の汚染防止
6 安全な大気環境や身近な生活環境の保全	11 大気環境の保全 13 化学物質・放射性物質対策の推進 14 身近な生活環境の保全 15 環境分野の災害への備えの推進
7 経済との好循環と環境科学・技術の振興	16 環境と経済発展の好循環の創出 20 環境科学・技術の振興と国際協力の推進
8 地域資源の活用や交流・連携による地域づくり・人づくり	17 環境と共生する地域づくりの推進 18 連携・協働による取組の拡大 19 環境を守り育てる人材育成